

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [多摩市立南鶴牧小学校] 担当教諭名 [植田 千成美] (5年 102名)

相手国・地域 [インド]

海外学校名 [Oakridge International School] 担当教諭名 [Karuna Swaminathan]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	クールジャパン	18

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	平和～世界中がみんな笑顔で～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセー ジ)	世界中がみんな笑顔であってほしい。そのためには、それぞれの国のことを理解し合うのが大切である。その想いをこめて、真ん中にはお互いの国旗をデザインした手で握手をし、その手はハート型になっている。そしてそれぞれの国を象徴するようなデザインを描くことで共に理解しようという想いをこめている。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ電話を通じて交流したことで国際交流の実感をもつことができた。 ・国の違う子供たちと共に一つの作品を作り上げることは貴重な経験となった。 ・言語の違いを始め、それぞれの文化の違い、またその良さを感じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時差や学校のスケジュールの違いを考慮したスケジュールの調整が難しかった。 ・計画通り進めることができなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
文化等を理解したことで、身近に感じるようになった。	外国の方々との価値観の違いを感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	インドについての調べ学習。	インドについて少し知識がついた。	総合
共有 テーマ学習	10月	自国の伝統文化について調べ、テレビ電話で交流。	実際にテレビ電話で話をしたことで、インドの伝統文化をより身近に感じる事ができた。また、他国と比較したことで、日本の良さについても理解が深まった。	総合
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	お互いの国について理解が深まったところでメッセージの決定。	より身近に感じる事ができたからこそ、国が違ってても皆が平和でありたいという思いが生まれた。	総合
創造 壁画制作	12月	調べてきた伝統文化を入れつつ、平和を象徴するデザインで制作。	インドの子供たちと1枚の絵を作り上げたことに感動していた。	総合
評価 振り返り 自己評価	3月	アートマイルを通して感じたことを振り返った。	実際に交流したことが印象に残っていたようだった。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	他国と比較したことで自文化の良さを意識していた。
異文化を理解する力	3	馴染みのない文化について積極的に調べていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	インターネットを活用し、互いに発表し合った。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	テレビ通話を通し、直接コミュニケーションを図った。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	異文化を理解したことで考えが多様化した。
主体的に考え行動する力	3	自ら疑問をもち、調べる姿勢が身についた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	3	学級内でまとめ、インドの子供たちへと伝えた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	調べてきた内容を壁画のデザインに表現した。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	完成した壁画を見て振り返りを行っていた。